

法人団
東京都宅地建物取引業協会

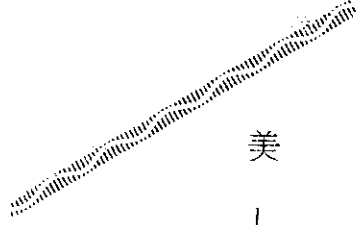
府中稲城支部

昭和45年
新春号
No.69

同舟

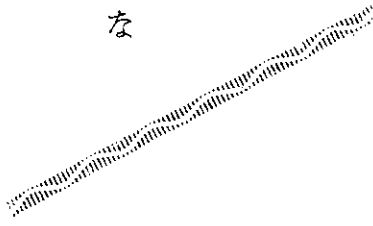


報道出版部長
吉美
編輯発行責任者
報道部
一
同



美
し
き
朝
の
み
ぎ
り
に
若
人
の

夢
広
が
り
て
歩
む
道
か
な



(むさし不動産) 大島二郎詠



支部長 山村 馬太郎

明けましておめでと御座居ます。

本年も宜敷く御引立の程をお願い致します。

昨年は事件続出でした。会員の諸兄にも何可と

御心配をお掛けし深く御詫び致します。

現社会の民主主義は反対であつても多数決に従

うのが民主主義の原則だと思ひます。又理想の

社会。理想の団体もありえないと思ひます現社

会は矛盾だらけの社会です。我々祖先も此の矛

盾だらけの社会に生まれて来た事と思ひます。

理想の社会を造るべく我々も努力しようではあ

りませんか。又我々業界は特に仲間どうしで円

満に交流し縦の連絡横の連絡に依つて物件交流

を密にして業績を上げるのが最上の生き方と思

いますれば何卒会員の諸兄も右を留意の上御働

き下さい。

私も支部長拜命以来来年で九ケ年に成ります。

会員の各位の御引立に依りまして現在に至りまし
た。之も各位の御厚情と深く感謝致します。来年
度の支部長改選には別の新人をお選び下さる事
をお願い致します。私も老先き短い人生を自分の為
に使はして下さい。

私兄を申し上げれば支部長改選は選挙でなく推
薦でおきぬ願ひ度いと思ひます。理由は選挙で変
つた支部は全部うまく行つてない事、推薦で変つ
た支部の新旧支部長はなごやかにやつて居ります。
此の様な次第で当支部は出来得れば推薦で行く様
各位の御配慮をお願い申し上げます。

- *****
- | | |
|-------|---------|
| 厚生部長 | 平 井 進二郎 |
| 事業部長 | 黒 田 安 幸 |
| 監察委員長 | 石 川 秀 一 |
| 監 査 | 栗 山 新之助 |
| ” | 加 藤 友三郎 |
- *****

支部会員の皆様明けましてお目出度うございます。
支部会員の皆様の御繁栄と御健康をお祈り申し上
げます。

組織部長 平間 竹次郎

明けましておめで度う存じます。昨年中は支部長、各先輩役員、会員の皆様から公私両面に涉りましていろいろ御指導やお世話を頂きまして厚く御礼申上げます。私の支部における仕事の主なるものは、本部不動産相談所に月一回乃至二回出向することですが、他支部から出向される相談員の方々は内外面とも充実し美に堂々たるものですからそれらに押されぬよう不断の自己研鑽が多面的に必要となつて参ります。ふ・と・こ・ろは努力してもすぐには温かくなりませんが、せめて出勤率と一夜償いであつても卓越した智識面で、当面は對抗し、それによって当支部名をそこなわないように致したいと考えている次第です。本年も御高所、御高部からの御叱咤と御教導を頂ければ、何より幸甚と存じます。

教育部長 関谷 鉄之助

明けまして お目出度う御座います。昨年中は一方ならぬ御指導御鞭撻によりまして、つゝがなく三六五日を無事過し越年出来ました事は、一重に皆様方のお力添えの賜ものと新年を迎えるに当り厚く御礼申上げます。尚本年は旧に倍しまして御引立の程を宜しく御願ひ申上げます。一夜明けた 元旦の朝 新年と言へば、何んとか気分も改まりて希望の輝きが満ち満ちて居り、門毎に立てる松と竹、其れに加えて我國を表徴する日章旗のひらめきも平和の風にはためいて新年にふさわしくお目出度い限りであります。この新らしい希望の年を迎え今年こそはと、今後の目標にひたすら走り続ける所存です。どうぞ皆様方のお力添えを重ねて御願ひ申上げます。

法務部長 磯崎 宗太郎

新なる年を迎え、謹んで皆様のご健康と御繁栄をお祈り申し上げます。

過ぎ去ったひととせ、顧りみますれば些々多忙に追われ何等理事としての職責、采配果し得なかつた事、甚だ恐懼に堪えない次第でございます。

扱て本年も内外にもろもろの問題点を包含しながらもいよいよ茲にその一步を踏み出したわけであり、政治的、経済的変革期の中に在つて業界の展望も決して樂觀を許さないのが現実であります。経済面に於ても、金融引締が漸次緩和されつつ有るとは言え未だなほ景気状況は不安定であり業界にとつても残念ながら甚だ好景気と言ふには不十分と申さねばなりません。然しながら之らにはあくまで短期の現象的なものであつて、万国博に象徴される経済の高度成長は飛躍的なものとなる予想されて居ります。体制改革も断絶が叫ばれる昨今、自覚と信

頼の基盤の上に立ちながらも旧きものは新しい時代に即したものと改革しつつ各人がそれぞれの立場から社会に貢献出来ませうと願致します。末筆乍ら会員諸賢のそして又業界の今後一層の発展成長を祈つて新年のご挨拶に変へさせていただきます。

綱紀委員長 山岸 正治

皆さま明けましてお目出度うございます。

昨年は当支部からも退会届者を出しましたが、除名返に致らず、これ偏りに会員皆様方の御協力賜と感謝しております。

一九七〇年は開発の年であると共に内政の年でもあると思ひます。

お互いさましたつかりと大地に根を下し頑張ろうではありませんか、社会的、公共性を有する不動産にたづさわる私達業者にとつて、隘いとしてやりにくい点も沢山あると思ひますが、これも、この職業を至上としている以上止むを得まいと思ひま

す。唯至誠と努力と研鑽あるのみと思ひます。今年こそは一人の違反者もない和をモットーとした府中支部 誰にも愛される府中支部を築かれん事を会員皆様方に心より御願ひ申し上げます併せて事業の益々御発展を御祈り申し上げます。

企画調査委員長 榎時 優

光輝ある新春を迎へるに際し、会員各位に於いては、益々御繁栄の御様子、寔に御同慶至極に存じます。

府中支部の願ふ目標は、今更多言を要しません、会員各位の業務繁栄経営安定こそ、最も肝要であり、この目標にこそ一致団結、結果すべきであると思ひます。私の職責は、その線に沿って、諸々の企画がなされるものであり言ふ迄もなく、不動産業者の責務を、痛感しながら、業務を通じて大衆に奉仕するという大前提を認識しながら、業界の繁栄に寄与したいと念願して居ります。

過去 役責の遂行について、十分でなく寔に申訳なく存じて居ります。今後何かと御意見を聞かせて頂き将来の指針として支部の発展の為頑張りたいと思つています。

支部会員の皆様、愈々団結を固め、相互理解を深めながら、各店の繁栄の為、更に一層努力を致しませう。

今年が尙一層光輝ある年である様念願し、新年の御挨拶と致します。

最後に会員各位の御健康と御繁栄を祈念し摺筆致します。

指導部長 栗原 常夫

明けまして御目出度う御座居ます。

昨年は当支部に於ては、支部名の変更、支部運営方針改革等を行いそして、商売繁昌と皆さんには良い年であつたと思ひます。

今年は一九七〇年世界的にも異議のある万国博が日本に於いて行われる年、大いに儲けて良い年で

ある様努力致しましょう。

小生も法務部より指導部担当と成り、業者の質的向上、悪徳業者の撲滅を計り皆様の御健康と業務発展を御祈り致します。

何卒本年も旧に倅して御指導御鞭撻の程を御願ひして年頭の挨拶と致します。

専務理事 結城 一等

府中民報既報の如く、府中支部が昨夏革新問題に因いて臨時支部総会が開催された。

この事は各位の記憶未だ遠からざる現実的な事実である。『雨降って地が固る』の例でこの問題は支部各員が支部を愛するが故に起るべくして起った問題であつたと私は解してゐる。各位の友愛と理解に依つて、この臨時総会は一応話し合いが付き、大同団結を見た事は、府中稲城支部百年の計の為誠に同慶に耐えないと感考する次第である。

その際、相互譲歩の一環として、一部支部役

員の更迭が行はれた。私は約五ヶ年の指導担当より転じて、専務理事、本部代議員、公共用地委員等の要職に推選された。省りみて、手腕力量、微力くの私に課せられたる重責は各位の御支援と御理解なくしては目的遂行不可能と思ひ各位の御助言を期待するものである。同舟紙上周知の如く私の後任指導部長は、若くして元氣旺盛商売繁昌学識経験共に豊かな、当支部のホープ光不動産の栗原社長が選任せられた。けだし当を得た人選である。爾后指導面に関して私同様、彼れを活用指導を仰ぐ事を各位に希望し併て年頭の御挨拶に代る次第である。

報道出版部長 出口 吉美

支部会員の皆様明けましてお目出度うございます。昨年支部の報道出版部長を任命されました毎月一回支部の機関紙「同舟」の発行努力致してまいりました。

それには、その不動産染野さん、高倉不動産の

野口さん、日章不動産の平間さん等よきご協力者がおられます。

又支部会員の方よりも原稿のご協力を頂きまして有難うございます。

本年も昨年以上によき「同舟」を発行致し支部友好の御役に立ちたいと報道部一同張切っておりますので支部会員の皆さんも数多い原稿をどしどし提出して下さい。

最後に支部会員の皆さんの御繁栄と御健康をお祈り申し上げます。

経理部長 吉野 亥之太郎

一九七〇年を迎え我が業界も多難な年か来たように考える事由として、土地税制の改革と金融引締めが挙げられると思う。前者の税制については、今のところ、なり行きに待つ他はないと思うが後者については既に金融機関は引締め政策を実施している。このまゝの引締めは万博まで横ばいに来て本年末に於いて一段と強化され

ると思う。これに依り本年十二月には黒字倒産があるとも考える。従ってこの一年間我々としては堅実な道を歩むことが得策かとも思う。一部大企業は金融引締めに対して強きの高姿勢であるが我々のような零細業者としてはむしろ引締めによる対抗策を考える方がよいかとも思う。いづれにしても、業者間には共に親睦を刀として団結してゆくべき年でもあらう。次に本年業協会としての運営については、改革の年でもある。既に協会経理部と企画調査部は業協会運営を経理上から見た改革案を提案している。

この問題は大いに会員諸君よりも意見を開陳して貰いたいと思っている。先づ協会駒沢会長は適正なる予算措置について経理部に答申を諮問している。昨年末この答申が経理部よりなされたがその内容は、未確定な事業収益を多額に業協会予算の収入面に計上、確定収入についてはすべて本部運営事務、人件費で概ね費消される現況であるので会費の値上げをする以外に方法はないのではないかと言う答申である。

又企業調査部としては、現行会費に関する調査小委員会を一昨年より設け予算内容を各部運営と比較して検討中のところ、これ又手きびしい意見が出て参りました。茲において本部は理事会で会費値上げ問題を討議に附しましたが結論が出ぬまゝ新年を迎えたのである。おそらく一月より業協会総会までには各部会、代議員会、理事会等での論議が続きそうである、が而し会費（本部納入金現行三三〇円）は、結論的に五〇〇円位で落付くと思う。振返って本支部経理部としては、現行のまゝで充分本部方針に従つても運営上、支障のない方法を考慮いたしております。

いづれにしても、業協会運営上の諸問題は支部運営の問題点となつてはね返つて参りますので、大いに建設的意見を本部に具申してよりよい協会として改革されることを一九七〇年の目標としたいと考えます。

☆☆☆☆☆☆☆☆
編 集 後 記
☆☆☆☆☆☆☆☆

◎明けまして御日出度うございます。というにはすこし日が立ち過ぎましたが本年最初の同舟を御届けいたします。

◎今回は何分にも新年でもあり、本部、支部の役員会がおくれておりますので御報告致すことが出来ませんので悪しからず。代りに支部役員の皆様に依る、年頭祝詞をお読み頂き、激励する七〇年代に対処する姿勢を伺つて下さい。

◎二月号からは、支部新年会旅行記、理事会報告、その他好評人生シリーズ続編、関谷氏提供に依る七〇年前との物価比較等々盛沢山の内容にて再び一年間をスタートする所存です。期待して下さい。

◎今年も大いに儲ける様に働きましょう。ただ前進あるのみ。

◎会員諸氏の御繁栄を祈ります。

（報道部、出口、平間、野口、染野）